

平成 31 年度 4 月定例記者会見 次第

日時：4 月 25 日（木）13 時 30 分～

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞、糸島新聞、西日本新聞、毎日新聞、読売新聞
NHK福岡放送局

〔糸島市〕 市長、副市長、教育長
関係部課 （企画部）地域振興課、（産業振興部）商工観光課

1 市長あいさつ

2 5月のイベント イベント情報

3 案件

（1）平成 30 年度九州大学等連携研究助成金成果発表会の開催について
（地域振興課） 資料 1

（2）（一社）糸島市観光協会の日本版 DMO 候補法人への登録
（商工観光課） 資料 2

（3）平成 30 年度農商工連携事業補助金成果報告【開発商品発表】
（商工観光課） 資料 3

4 市長短信 短信資料

5 懇談・その他

次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：5 月 27 日（月）13 時 30 分～

場所：糸島市役所 庁議室

糸島市九州大学等連携研究助成金 成果報告会(平成30年度助成分)を開催します！

日時

令和元年5月12日(日) 13:00~15:15
糸島市役所 一号会議室

概要

糸島市では、大学が持つ高度な知的資源を活用したまちづくりを進めており、そのひとつとして、大学の研究者が行う地域課題の解決や地域資源の掘り起こしなどにつながる研究に対して「糸島市九州大学等連携研究助成金」制度を設けています。

この制度を利用して研究を行った4人の研究者が、研究結果を発表する「成果発表会」を開催します。詳細は別添チラシをご参照ください。

助成実績

- 平成30年度助成研究数：4件
- 平成30年度助成金総額：3,600千円(1研究100万円を上限に助成)
助成総額は暫定金額です。実績報告をもとに、助成総額が変動する可能性があります。

平成31年度の研究事業について

平成31年度は、当事業をより充実させるため次のとおり変更します。

名称を「糸島市協定大学等課題解決型研究事業」に変更

平成30年度の対象校に、協定を締結している西南学院大学、相模女子大学・相模女子大学短期大学部、福岡医療専門学校)を加えます。

大学等と市で委託契約を締結し、市の委託研究として研究の完結まで関係部署と協議を重ねながら進めていきます。

募集期間終了後、内部で選定会を実施し、研究の決定は6月上旬を予定しています。

問い合わせ 詳しい情報は、こちらまでお尋ねください。

糸島市 地域振興課 定住・学研都市係 (担当：渡邊、中村、高嶋)

電話 092(332)2062 内線(1325)

E-mail chiikishinko@city.itoshima.lg.jp

糸島市九州大学等連携研究助成金 研究成果発表会

糸島市では、九州大学や中村学園大学・中村学園大学短期大学部が持つ高度な知的資源を活用したまちづくりを進めています。そのひとつとして、九州大学の研究者が糸島市内をフィールドとして、地域課題の解決や地域資源の掘り起しなどにつながる研究に対して「糸島市九州大学等連携研究助成金」制度を設けています。

平成30年度に実施した下記4つの研究の成果を各研究者が解説する発表会を開催します。是非ご参加ください。

5月12日 (日曜日)
13:00 ~ 15:15

入場
無料

入退場
自由

糸島市役所 新館5階 1号会議室
(糸島市前原西一丁目1番1号)

時間	研究者名	所属	どんな研究を行ったか
13:00	開会		
13:10 13:35	(せん こん) 銭 琨	九州大学 持続可能な社会のための 決断科学センター 助教	SNS から文字情報を抽出し、心理学的手法を用いて「主観的糸島生活幸福度指標」の作成と検証を行い、糸島で暮らすことの幸福感や充実感を指標化、数値化する「幸福度」について、糸島独自の指標を作成して、本市民のニーズや満足度、幸福度を可視化する。
13:40 14:05	(つみ あきひろ) 堤 顕紘	九州大学 芸術工学府 修士	糸島市の魅力を更に多くの方に知っていただくため、発信者と利用者が双方向でコミュニケーションが可能なSNSを作成、運用した後、アクセス解析等を行い数値化する。
14:10 14:35	(かわさき のぶよし) 川崎 修良	九州大学 持続可能な社会のための 決断科学センター 講師	前原中央・前原西に着目し、キャンパス移転を控えた九大生の意識調査、居住の可能性、空き家の掘り起しや文化活動との結び付けを行うことで、地域活性につなげていく。
14:40 15:05	(あさおか ゆみ) 浅岡 柚美	中村学園大学 流通科学部 教授	糸島の食材、都市との地理・時間近接性、訪日観光客等の優位性を踏まえ、総合的なグリーンツーリズムの開発を行う。公共の遊歩道やトレッキングコースの模索、糸島産食材をめぐるフード・ツーリズム、伝統食と農家民泊の結び付け等を調査し、実現可能性について検証する。
15:15	閉会		

糸島市 企画部 地域振興課
定住・学研都市係 (渡邊・中村・高嶋)
TEL 092-332-2062



ホームページはこちら



(一社)系島市観光協会の日本版 DMO 候補法人への登録

平成 29 年度より取組を進めていた系島版 DMO の設立について、平成 31 年 3 月 29 日付けで(一社)系島市観光協会が候補法人に登録されました。

1. 日本版 DMO 候補法人の名称 (一社)系島市観光協会

2. 登録区分 地域 DMO

【平成 31 年 3 月 29 日現在登録状況】

- ・日本版 DMO 登録法人 123 (広域連携 DMO10、地域連携 DMO63、地域 DMO50)
県内 広域連携 DMO 1 / (一社)九州観光推進機構、地域 DMO 1 / (一財)FM 八女、
- ・日本版 DMO 候補法人 114 (地域連携 DMO36、地域 DMO78)
県内 地域連携 DMO 1 / (一社)田川広域観光協会、地域 DMO 3 / (一社)系島市観光協会、うきはの里(株)、(一社)新宮町おもてなし協会

3. 役割

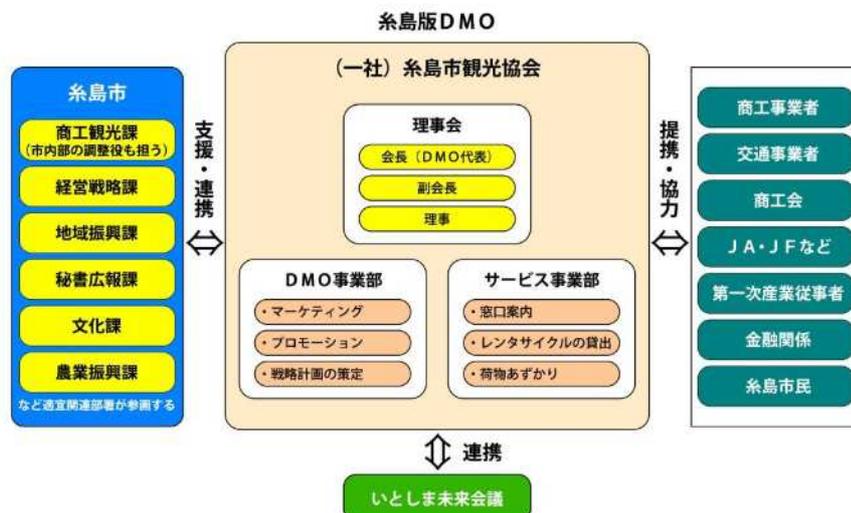
点在する観光資源をつないで回遊性を高め、滞在時間を延ばすことで観光消費額を増加させ、地域の稼ぐ力を高めることを目指す。

この実践にあたり、マーケティングを踏まえた戦略を策定し、多様な関係者間の調整機能を果たしながら、地域の中心になって観光を盛り上げる。

4. 今後取り組んでいく事業

- ・レンタサイクル事業の拡充(増台、拠点拡充等)
- ・飲食ジャンルの買い回りチケット事業の確立(カフェ・スイーツ、パン、カレー等)
- ・企業研修等小グループのニーズに合わせたプランやプログラムの開発と販売
- ・外国人個人旅行客向けのガイド付き旅行ツアー、体験・交流型ツアーの造成・販売
- ・外国人旅行者の利便性を高める交通インフォメーション等の改善
- ・観光 E X P O、観光情報誌、インフルエンサー等を活用した効果的な観光プロモーションの実施。

5. 実施体制



用語説明

DMO (Destination Management / Marketing Organization)

日本版DMOは、地域の稼ぐ力を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

広域連携DMO

複数の都道府県に跨がる地方ブロックレベルの区域を一体とした観光地域として、マーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを行う組織

地域連携DMO

複数の地方公共団体に跨がる区域を一体とした観光地域として、マーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを行う組織

地域DMO

原則として、基礎自治体である単独市町村の区域を一体とした観光地域として、マーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを行う組織

登録主体：国（観光庁長官）

支援制度

観光庁をはじめとする関係省庁（観光庁、国土交通省、内閣官房、総務省、金融庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省）で構成される「日本版DMO」を核とする観光地域づくりに対する関係省庁連携支援チームを通じて重点的支援が実施される予定。

平成 30 年度農商工連携事業補助金成果報告【開発商品発表】

平成 30 年度糸島市農商工連携事業補助金を活用して、市内 1 事業者が市内の農林漁業者と連携し、新商品の開発に取り組みました。

【平成 30 年度の事業で開発された新商品】

事業者名	商品名
株式会社フロンティア・アドバンス	糸島産小麦を使った『糸島鯛ラーメン』

【糸島市農商工連携事業補助金とは】

市内の中小企業者が、市内の農林漁業者と連携し新商品などの研究開発や販路開拓を行う事業に対し、市がその経費の一部を補助する制度です。

- 補助対象者：市内の中小企業者（市税に滞納がなく、暴力団等と関係がないこと）
- 補助対象事業：補助対象者が市内の農林漁業者と連携して新商品、新技術、新サービスの開発などを行う事業
- 補助対象経費：原材料費、外注加工費、試作開発費、調査研究費、広告宣伝費など
- 補助率：対象経費の 2 分の 1 以内（1 事業当たり上限 100 万円）

【実績】地域経済の活性化を図ることを目的に平成 26 年度から補助事業を開始しています

該当年度	開発事業者（開発商品）
平成 26 年	4 事業者（糸島牡蠣茶わん蒸し、梅味噌ドレッシング、鯛のオリーブオイル漬け 糸島産橙風味辛子明太子）
平成 27 年	4 事業者（絹ごしたまごスープ、鯛起万世、天然真鯛の昆布しめ、糸島ラーメン）
平成 28 年	4 事業者（糸島産ヤーコンシロップ、元祖糸島豚籠包、中洲二丁目屋台 博多めしシリーズ（かきめし / とんこつめし）、糸島三部作 From Itoshima Sweets Suite（伊都 酒蔵饅頭 / 田舎しょうゆ餅 / ふわふわ練乳大福）
平成 29 年	2 事業者（福岡県糸島産 基本のトマトソース、森のみそ、ドレッシング、漬物、佃煮）

問い合わせ先

糸島市 産業振興部 商工観光課 商工労働係
担当 河野（こうの）井上
電話 （092）332 - 2080（直通）
内線 1854
E-mail shokokanko@city.itoshima.lg.jp

糸島市水揚げの天然真鯛と糸島産小麦を使用

商品名 『糸島鯛ラーメン』

糸島市農業公園「ファームパーク伊都国」を運営する株式会社フロンティア・アドバンス社（代表 石橋強氏）が、自社直売所「伊都国即売会」のオリジナル商品を販売するため、水揚げ量日本一の天然真鯛と糸島産小麦を使って『糸島鯛ラーメン』を開発しました。

直売所「伊都国即売会」は、ファームパーク伊都国で販売するほか、ショッピングモールでの常設販売や商業施設の催事にも出店していることから、情報発信や販売機会があるため、自社商品を持つことで、今後売上向上や更なる販路開拓が期待できます。

商品写真



商品の内容量と価格

ラー麦麺 90g × 2 180g / 鯛フィーレ 11g × 2 22g / 鯛だしスープ 25g × 2 50g
252g入り 1,296円（税別）

商品の特徴

- 麺 : 糸島産小麦粉を 100%使用した糸島初の糸島産ラー麦乾麺
- スープ : 年月を重ねて培った技術と製法で、糸島産鯛のあら、北伊醤油をブレンドした「鯛だしスープ」
- 鯛フィーレ : 日本鮮食(株)独自の技術を用いて、旨味・作りたての鮮度をそのままパッケージした贅沢な生タイプの国産鯛フィーレ
- パッケージ : 糸島漁協の大漁旗の「鯛」をあしらい、糸島の海をイメージしたデザイン

主な販売場所

- ファームパーク伊都国内 伊都国即売会
伊都国即売会 イオンマリナタウン店
伊都国即売会 イオンスタイル笹岡店
糸島市役所庁内売店 伊都国即売会
ゆめタウン博多 糸島フェア (毎月一回催事出店)
(調整中) DOCORE (どおこれ) ふくおか商工会ショップ

補助金交付確定額：300,000円

会社概要

社 名：株式会社フロンティア・アドバンス

代表者名：代表取締役 石橋 強

会社設立：平成 21 年 6 月 29 日

本 社：福岡県糸島市高祖 747-1

電 話：092-322-7661

出 店：ファームパーク伊都国(指定管理)、イオンマリナタウン店、
イオン笹丘店、イオン志摩店、糸島市役所庁内売店

資 本 金：500 万円

事業内容：障がい者福祉・糸島産直売所・公園管理

従業員数：47 名(平成 31 年 4 月 1 日現在)(うち障がい者雇用 22 名)



ITOSHIMA RED SNAPPER RAMEN

国産 鯛フィレ入り

古くから真鯛漁が盛んで、真鯛の水揚げ日本一の糸島。
国産の鯛フィレと糸島産の醤油を使ったぜいたくラーメン。
スープには鯛のアラだしを使用しており、シメにご飯を
入れれば一つで二度美味しい。



糸島産小麦



100%使用

2人前
1,296円(税別)



糸島市農業公園 ファームパーク伊都国
糸島新鮮野菜直売所 伊都園即売会

※写真はイメージです。